

# 日本の有機栽培

最近、有機野菜という言葉もよく耳にするようになりましたが、有機野菜とは平成 12 年の 6 月に、過去 2 年以上農薬と化学合成肥料を一切使用しないで収穫された作物のことで有機 JAS マークがついています。スーパーなどで、このマークのついた有機野菜を見かけたことがあるでしょうか？平成 12 年以前は、無農薬や減農薬であっても有機という言葉を使用することができましたが、今は JAS マークがないと使用できません。野菜の 1% ぐらいしかこのマークのついたものは現在はありませんので、皆さんが有機と思って購入しているものは、多分有機ではないと思われます。日本の高温多湿の夏を過ごすには、有機栽培は非常に難しいのです。人手とコストがかかり収穫量は上がりず見た目も決して良くありませんから売れる商品にはならないのです。現在、皆さんが有機と思って購入している野菜は、多分「特別栽培農産物」として扱われている物で、農薬は通常の半分～1/3 というものだと思います。

今の日本で、例えば有機野菜を買うことが出来たとしても、過去 2 年ぐらいで土は変わりません。20～30 年もずっと農薬漬けになっていた土壌はそう簡単には変わらないのです。ですから、日本の有機野菜は、実はかなり意味のないものなのです。

ではどうするか？できるだけ、農薬や化学肥料の少ない物を選ぶのはもちろん大切です。しかし、これも限度があり、長い間には人間の代謝機能を弱らせることになります。（現に今、癌がこれほど増えたのもその一因だと思います）ですから、私は質の良い天然のサプリメント（決して日本産ではないもの）を補給しながら、食事のバランスに気をつけるしかないのではないかと、この頃思います。